

もりやま顔見え通信

第 21 号 平成 29 年 1 月 13 日



発行：守山顔の見える会

「第 21 回守山顔の見える会」が開催されました！

初春とはいえ厳しい寒さが続いておりますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。
第 21 回目は、グループホームや特別養護老人ホームなど施設での看取りについてお話をさせていただきました。

グループワークでは、話が盛り上がり、活発な意見が飛び交いました。

【開催日】平成 28 年 12 月 8 日（木）18：15～19：45

【内 容】学習会、グループワーク

【会 場】すこやかセンター 3階 講習室

【参加者】医療関係者 21 人、 介護関係者 25 人
行政等 14 人



合計 60 人

学習会 「施設での看取りについて」

～グループホーム・特別養護老人ホームでの看取りを支える専門職の立場から～

グループホームや特別養護老人ホームでは、介護スタッフが 24 時間体制で常駐し、利用者の生活をサポートされています。

利用者の“生活の場”である施設において、人生の最期を迎えることはどういうことか、また、介護スタッフの役割や日々感じる思いについて語っていただきました。



**発表者：特別養護老人ホームゆいの里 生活相談員 大西 博 さん
介護主任 堀江 美紀子 さん**

ゆいの里では、平成 23 年度から看取りを開始し、平成 25 年度には看取りに関する指針を作成しました。現在では、年間 10 人弱の看取り支援を行っています。

看取り支援は、本人や家族から同意書をいただいてケアを開始します。看取り支援を行う上で大切なことは、一番身近な支援者としてご本人の変化を素早くキャッチすることや、ご本人の視点でケアを考えていくことだと考えています。また、静養の時間が長くなってきても、ご本人の好きな過ごし方ができるように工夫しています。



**発表者：グループホーム花梨 ケアワーカー 奥村 修平 さん
ケアマネジャー 深田 知洋江 さん**

花梨では、平成 26 年度に A さんの看取り支援を体験し学びを得ました。はじめての看取り支援で職員の不安は大きかったですが、看取り支援を実践した過程と、その学びを振り返りました。

課題として、①看取りに関わる職員へのメンタルケアが必要であること、②身体の状態の変化に合わせたケアの見直しを行い、情報共有を図ること、③看取り支援について、普段から主治医や看護師と共有し、学びの場を設けることなどがあげられました。

今後も、生活の場での看取りが当たり前になる地域づくりを目指します。



その後、グループで話し合いました。
テーマ：施設や在宅での看取りにおける多職種協働について
～それぞれの役割と連携について上手くいったこと、困難だったこと～



本人の望むことを第一に考え、在宅にこだわる必要はないのではないか。

在宅看取りに向き合う家族は、「状態が悪化したときに、どうしたらいいのかわからない。」という不安を抱きやすいため、家族のサポートが大切。

看取りの指針を基に、本人らしい普段の生活ができるようにサービスを整える。日頃からの小さな気づきをスタッフが共有していくことが大切。

親族間での意向をしっかりとめるため、エンディングノートに具体的な治療の内容などを書いてもらうことが必要ではないか。

ひとり暮らし、老々介護、認知症等の看取りが増え、今と昔で看取りに対する考え方も変化している。

看取り期は、サービス担当者会議をできるだけ頻回に開催し、本人、家族の思いを確認し、多職種間で情報共有を図ることが大切。



看取り支援の事例検討を積み重ね、今後の看取り支援につなげていきたい。

看取り支援を考えるうえで、かかりつけ医、訪問看護師、ヘルパーの連携が重要。

看取り期間はそれぞれ違い、長期になると家族の負担が多くなるため、本人・家族の思いを確認しながら、多職種と一緒に話し合う。



～ 感想 ～

- ・看取りについて考えるとき、一番大事なのは本人の思いだということを改めて感じました。
- ・看取りに携わるケアワーカーの率直な声が聴けて、貴重な機会となりました。
- ・いろいろな職種の方と意見交換でき、大変勉強になりました。
- ・多職種連携の意義が少しわかりました。皆でもっと話をしたいと思いました。

などの感想をいただきました。

～次回のお知らせ～ *次回は、第2木曜日開催です。

第22回 平成29年2月9日(木) 18:15~19:45 すこやかセンター3階講習室
学習会 「リハビリについて(仮)」

多くの方にご参加いただき、ありがとうございます。次回もたくさんのご参加をお待ちしています。

問い合わせ：事務局 守山市健康福祉部 在宅医療・介護連携サポートセンター

TEL：581-0340 FAX：581-0203